

### 平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	塩尻四宿400年祭(街道交流事業)
事業主体 (連絡先)	街道交流事業実行委員会 塩尻市大門八番町13-10
事業区分	(6)ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,961,709円(うち支援金: 2,930,000円)

## 事業内容

醸成し、交流人口の増加  
資源を活用した街道交流

・文化について学習する  
り成果を発表した。

市民約600人  
校:4校



【学習発表会】

資料・文献等の展示並  
ちの展示会を実施

1(木)

は9月1日(月)まで

いても展示を実施



【展示事業】

舞い、特別展示、宿場案  
を実施

福寺外  
賀農林漁業体験実習館  
山介護予防交流施設  
尻東地区センター外



【舞の日】

宿:約300人

宿:約2,500人

るため並びに地域の文化  
をめに欠かすことのでき

考え設置

石碑の設置

設

」の発行



【浅茅記念事業】

を形成し、宿場と商店を  
一を実施

、贅川宿、本山宿、洗馬  
宿、郷原宿  
募者数：200人  
及び商品割引等)

日

イナリー～平出博物館～  
向行列見学)～塩尻駅

塩尻宿を歩く

尻駅



ーキング事業】

中止

道歩き (ウォーキング)

が徳川將軍家へ輿入れの  
日

遺跡公園→塩尻宿  
人数 103人



御下向行列】

「秋の姫街道」の販売  
にて 400 個完売



から 21 日 (木)

ッチ大会】

いる江戸から 58 里の「柿  
7 里の東山一里塚と、59  
りながら向かい合いに歩



を探そう】

(別記様式第12号)(第3の8関係)

### 10【「中山道を歩く」ウォーキングマップ増刷事業

桜沢から下諏訪宿を経て和田峠までに加え、洗馬宿から郷原宿までの善光寺街道も含めたウォーキングマップ「中山道を歩く」を4,000部増刷

※支援金対象外事業

### 11【和宮行列写真展】

①期間：12月7日(日)～19日(金)

②場所：市民交流センター

③来場者数：約10,000人



【和宮行列写真展】

## 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

・記念事業を多数実施したことにより、地域の実行部隊の存在を周知することができた。また、事業実施に向けて内容等について協議・検討を重ねたことにより中長期的な戦略などを検討することもでき、今後も継続的に活動していく必要性を共有することができた。

・地域住民が自らの地域文化に触れる機会を増やすことにより、地域の新しい魅力を発掘し、またこれまで持っていた魅力をより一層磨き上げることができた。

・地域住民と来訪者が交流する機会を増やすことにより、一層地域への愛着と誇りを醸成するとともに、観光地域づくりに対する住民意識を高めることができた。

・記念事業の実施にあたっては、地域住民を広く巻きこみ事業を実施したため、事業に関わった住民自身が達成感を得たことにより、一層地域への愛着と誇りを醸成するとともに、観光地域づくりに対する住民意識を高めることができた。

・小、中学校の学習会、学習発表会、宿場の日などの機会を通じて、次世代を担う子どもたちに文化を継承することができた。

・400年記念事業を実施したこと及び地域の魅力を積極的に発信したことにより、4宿については、過去最高の観光客が訪れた。

※各事業当初来場(来訪)者見込み数→実績

学習発表会：約500人→600人

展示事業(於えんぱく)：約2,000人→35,000人

宿場の日：約2,000人→4,100人

スタンプラリー：約1,000人→2,000人

街道ウォーキング：約500人→600人

和宮御下向行列：約3,000人→6,100人

スケッチ大会：約50人→50人

柿沢一里塚を探そう：約150人→200人

通常時の各宿場来訪者数：例年より30%増(地域住民の情報)

## 【目標・ねらい】

- ① 組織の確立
- ② 地域資源の発掘、磨き上げ、情報発信
- ③ 住民の愛着と誇りを醸成
- ④ 地域の伝統・文化・歴史の継承
- ⑤ 交流人口の増加

## ※自己評価【A】

### 【理由】

- ・記念事業の来訪者数は、いずれも目標数を超えた
- ・記念事業等を実施しない通常時においても、例年より30%増加

### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

・400年祭という記念事業は終了したが、地域住民の街道等を活用した地域づくりへの機運が高まっている中、今後も街道交流事業実行委員会が主体となって地域住民と来訪者が交流できる場(宿場祭)や地域文化・歴史に触れる機会(宿場の日、展示事業)を提供し、地域への愛着や誇りの醸成を図り、観光地域づくりを目指したい。

・400年祭事業で総合学習の一環として子ども達が身近な地域の伝統・文化について学習する機会を提供することができたが、学校側から要望があれば今後も継続して実施したい。

・「まち歩き」が観光のキーワードである今日、街道ウォーキングを広く活用し、地域住民と来訪者が交流できる場となるよう工夫していきたい。

・「皇女和宮御下向行列」については、高い誘客効果及び観光客の消費を促すことが期待できるため、新しいコンテンツとして定番化させることにより商品化に繋がる可能性もあるため、より一層魅力ある事業となるよう磨き上げを行っていきたい。また、共通資源として、木祖村の他、下諏訪町、近隣観光地(岐阜県中津川市・馬籠宿観光協会等)と連携し、事業を実施することで今後の広域的な観光振興策としても位置づけていきたい。

・後世に残す記念事業で設置した資源は、新たな地域資源として活用するため、地域の歴史同好会等がそれを活用した事業(講座、学習会等)を行い、より一層の磨き上げと情報の発信を行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある